

要 望 書

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

要望要旨

貴職におかれましては、平素から東武野田線沿線地域の鉄道輸送整備や地域振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

とりわけ、野田市内の連続立体交差事業の早期完成に向けた貴職のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

東武野田線は、千葉県と埼玉県的主要都市を環状路線として結ぶ重要な鉄道であり、沿線地域の都市機能の集積や住宅開発の進展の動向により、今以上に通勤通学環境の改善や人にやさしいまちづくりの推進が望まれております。

一方、東武鉄道株式会社におきまして、今年4月に「新型特急車両500系」の運行を開始させ、同車両は東武野田線に乗り入れる『特急アーバンパークライナー』としても導入されています。そして東武グループの今後4か年の具体的取り組みを示した新たな中期経営計画が策定され、同社沿線における事業の深耕と沿線価値の向上により、定住人口と交流人口の拡大を目指すことが盛り込まれています。

鉄道沿線地域の発展は沿線自治体の重要な施策であると共に、鉄道利用者が望む、鉄道輸送網の更なる利便性の向上に応えることも重要な責務であると認識しており、これらのことから、東武野田線は、より一層の広域交通に対応した公共輸送網の整備・充実が強く望まれるところであります。

貴職におかれましては、このような地域の実情をご賢察いただき、特段のご高配、ご尽力を賜りますよう切にお願いするものであります。

要望事項

- 1 東武野田線の輸送力増強及び高架化が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 2 東武野田線の春日部駅から運河駅の複線化が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 3 駅施設の改善が図られるよう尽力をお願いしたい。

個別要望事項

■ 東武伊勢崎線・野田線の輸送力増強及び高架化について

【野田市】

- (1) 東武野田線（野田市内）連続立体交差事業の早期完成
並びに同事業に合わせた愛宕駅及び野田市駅のバリア
フリー化

■ 東武野田線の春日部駅から運河駅の複線化について

【野田市】

- (1) 東武野田線「春日部駅—運河駅間」の複線化の第一歩
として、「梅郷駅—運河駅間の複線化」の早期実現

平成29年11月14日

千葉県知事 森 田 健 作 様

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

会 長 春日部市長 石 川 良 三

副会長 さいたま市長 清 水 勇 人

副会長 越 谷 市 長 高 橋 努

副会長 野 田 市 長 鈴 木 有

監 事 宮 代 町 長 新 井 康 之

監 事 杉 戸 町 長 古 谷 松 雄